

## 【取組内容①】 個別別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指すために、ICT活用を明確に位置づけた授業づくり

## 本校の校内研究について

## 7月24・25日夏季校内研修について

## 研究主題

いきいきと思考し、ともに高め合う子どもの育成  
～ICT活用で創る新しい授業・学校のかたち～

以下の流れを参考に、授業づくりを進めていって下さい。

- ①単元、授業場面の設定をする。(学年, 教科, 単元・題材名, 第〇時・・・)
- ②単元, または本時でどのような力をつけることができれば良いのか検討する。(ゴールイメージを持つ。)
- ③本時では, どのような教科の見方・考え方を大切にしたいかについて検討する。  
(前回の校内研修で提案して頂いた, 各教科のポイントを参考に)
- ④学年部ごとに児童の実態について話し合う。(学習面・生活面等)  
・良いところ  
  
・課題
- ⑤ICT活用方法案を検討する。(つきたい力に向けて, 効果的に活用することを目指す。)

以下の授業づくりの視点を意識してください。

## 授業づくりの視点

- ☆各教科の見方考え方を働かせることができたか。
- ☆ICTは効果的に活用されていたか。
- ☆個別最適な学び、協働的な学びは実現されたか。

②は教材観, ④は児童観, ②～⑤は指導観につながる部分であると考えます。⑤については授業づくりをしていく中でどんどん変わっていく部分かと思えます。今日は決まっていなくても構いません。

本校では、研究主題をもとにした仮説の検証に向けて、左記のようなワークシートをもとに授業づくりを進めている。

その際授業づくりの視点の1つとして、「個別最適な学び・協働的な学びの実現」をキーワードとして挙げている。下記は本校で共通理解している「個別最適な学び・協働的な学び」のイメージである。これらを両輪として、一体的に充実させていくことを目指している。

## 個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実イメージ

## 個別最適な学び・協働的な学び

必要に応じて、ICTツールを活用したり、1人で粘り強く取り組んだり・・・  
自分に合った解決方法を自由に選択し、決定することができる。

## 個別最適な学び

友達と関わる必然性を生み出し、共に問題解決を図ろうとする。

## 協働的な学び



次ページは、授業事例